

上越ケーブルビジョン
令和8年度
第1回 FM みょうこう放送番組審議会 議事録

開催年月日 令和8年6月30日（火）10：00～11：00
開催場所 上越ケーブルビジョン J-pit 会議室
出席者 委員数5名
審議委員 松木成徹委員長、石川ひとみ副委員長、打田亮介委員、塚田歓太郎委員、寺島琴音委員
JCV メディアセンター担当取締役・部長 沢田真紀
メディアセンター課長代理 鶴見幸恵、メディアセンター 八木一茂

- 1 開会
- 2 挨拶 上越ケーブルビジョン 担当取締役部長 沢田真紀
- 3 議題

- (1) 番組について
 - (a) ぴっとイン！第1部 5/18（台湾出身 蔡さん電話出演・みょうこ推し！）
 - (b) 堀越まみかの Become VA time
- (2) その他
 - (a) ポッドキャスト配信について

4 議事の概要・審議内容

- (a) ぴっとイン！第1部 5/18

概要 毎週月曜日はハートスタジオから生放送。妙高市に縁のあるゲストなど出演いただいている。この日は「国際親善デー」ということもあり、台湾から妙高市へ夫婦で移住し、体験型宿泊施設マホラ西野谷を運営する蔡（サイ）さんと電話をつないで話を聞いた。

「みょうこ推し！」は妙高市役所からのお知らせコーナー。ハートスタジオで市の職員が生出演し、毎回ひとつのトピックス＆「推し」を紹介。コーナー名や内容など若手職員が考案。

- ①（審議委員） 妙高市政がわからないこともあり、なるほどと思った。自分の住んでいる地域が取り上げられるとすごく嬉しいと思う。事前 PR があれば聞く人がもっと増えるのでは。
（事務局） 妙高市学校町のハートスタジオは毎週月曜日のみ稼働。月曜日は話題も極力妙高エリアに特化した内容にと考えている。PR 不足は感じる。
- ②（審議委員） 市政情報のクマやイノシシについては自分も気を付けようと思った。マホラ西野谷は以前から気になっていた。台湾出身の方でスキーがきっかけで移住し、米農家もされていると聞き地域に根付いていると感

じた。地域外の方が感じた魅力を自分たちも発信しないといけない。参考になった。

- ③（審議委員） 蔡さんが「上越地域のどこに魅力を感じているか」という質問に「日常です」と答えたのが印象的だった。今後の地域おこし・まちづくりに、どのような手法で落とし込んでいくか、気付かされるような放送だった。

（b）堀越まみかの Become VA time

概要 「チャレンジメイト」のボランティアパーソナリティによる番組の1つ。トークなど収録音源を納品してもらい、若干の編集を加えている。パーソナリティの堀越さんは新井高校在学中、放送部として「なんでもラジオ」を3年間担当。この経験もあり、声を生かした仕事を希望し新潟の専門学校へ。その後上京し声優養成所で活動中。

- ①（審議委員） とても夢のある内容。ラジオを通して、チャレンジしている人のことを知り応援したくなった。地域の活性化にもつながる。
- ②（審議委員） 新井高校放送部卒業後からこの番組をもっているのか。
- （事務局） 放送部での番組の経験を生かし声優になりたいということをきき、繋がりつづけたと思い番組参加を打診した。協力が得られ、今日まで続いている。
- ③（審議委員） とても明るくあたたかい声。聞いていて頑張ろうという気になった。声から元気を貰えるのが、ラジオならではの。
- ④（審議委員） 将来的に、声優をやりつつJCVに関わってくれるなど、2拠点居住のような形でコラボしてくれたらよい。これからはいろんな若い人を発掘してほしい。
- ⑤（審議委員） 簡単に言うと『頑張れ』っていう気持ちになった。夢に向かう途中の段階でスポットを当ててくれる、地域として応援するという姿勢はすごく大事なことです。

（2）その他

ポッドキャスト配信について

概要 ポッドキャスト配信を開始した。ポッドキャストとは、スマートフォンやパソコンで好きな時間に何度でも聞ける音声配信サービス。これにより生放送のゲストの方にも出演した部分を聞き返してもらえる。現在は一部の番組だが、順次配信していく。「Spotify」「Apple Podcast」「amazon music」3つのプラットフォームで配信中。若者を中心に近年需要が高まっているポッドキャストユーザーがFMじょうえつ、FMみょうこうの番組を知るきっかけにもなる。

5 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法

①事務所への備え置き

②FM みょうこうホームページ (<https://fm-myoko785.jp/>) への掲載

6 閉会